



2015年10月14日プレスリリース

発信元：(公財)都市緑化機構
TEL:03-5216-7191

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第35回緑の都市賞」「第26回緑の環境デザイン賞」「第14回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」

公益財団法人都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的に、「都市の緑3表彰」として、「緑の都市賞」「緑の環境デザイン賞」「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」の3つの顕彰・表彰事業を実施しております。

このうち「緑の環境デザイン賞」については、昨年創設より25周年を迎えたことを記念し、2020年に向けた特別企画として「おもてなしの庭」助成プログラムを今年度から新たに実施しております。

このたび、厳正な審査の結果、受賞者が決定いたしました。

1. 第35回「緑の都市賞」(主催：都市緑化機構、特別協賛：第一生命保険株式会社)

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている団体等を顕彰するもので、今回内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞等が決定しました。(P2-P4)

2. 第26回「緑の環境デザイン賞」(主催：都市緑化機構、第一生命保険株式会社)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成、環境保全の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のために800万円を上限として整備費を助成するもので、今回国土交通大臣賞等が決定しました。(P5-P7)

★「緑の環境デザイン賞」特別企画 『おもてなしの庭』(東京都限定)

東京都が2014年12月に公表した『東京都長期ビジョン～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～』の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることにちなみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、2020万円を上限として整備費を助成するもので、今回おもてなしの庭大賞等が決定しました。

3. 第14回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール(主催：都市緑化機構、特別協賛：住友林業株式会社)

都市における屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰するもので、今回国土交通大臣賞、環境大臣賞等が決定しました。(P8-P10)

問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 「都市の緑3表彰」担当 上野,益永,小松
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195 Email: midori.info@urbangreen.or.jp
URL: <http://urbangreen.or.jp/>

第 35 回 緑の都市賞 審査結果

第 35 回「緑の都市賞」には、全国から 48 点の応募があり、2015 年 9 月 3 日の第一次審査委員会、現地調査、及び 9 月 28 日の第二次審査委員会を経て、次の団体の受賞を決定しました。

◎内閣総理大臣賞 [1点]

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	泉佐野丘陵緑地 パーククラブ 大輪会	大阪府営 泉佐野丘陵緑地 (大阪府泉佐野市)	市民ボランティア(パーククラブ)、それを支援する企業グループ(大輪会)、行政の連携により実施する公園の整備、管理、運営活動。「大規模公園における地域、企業、行政の協働による公園づくり」の先駆的事例となっている。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	千里竹の会	桃山公園内の竹林他、計 4 か所 (大阪府吹田市及び豊中市)	地域住民による千里ニュータウンの荒廃した竹林を整備するとともに、竹細工づくり等、地域社会の発展に貢献することを目的とした活動で、地域の安全性の確保や地域環境改善など多様な成果をもたらしている。	
緑の事業活動部門	三井不動産 柏の葉街づくり推進部 柏の葉 アーバンデザインセンター 千葉大学大学院 園芸学研究科 オンサイト計画設計事務所 東京大学フューチャーセンター推進機構	柏の葉ゲートスクエアおよび柏の葉キャンパス駅西口駅前広場・西口駅前通り (千葉県柏市)	多様な主体が参画する「柏の葉アーバンデザインセンター」の緑地計画・運営企画により、一体的な都市緑地デザインの実現に取り組んでいる。多様なライフスタイルの場面で緑を活かすまちづくりとなっている。	
緑の事業活動部門	東京建物株式会社 大成建設株式会社 一級建築士事務所	大手町の森 (東京都千代田区)	「都市を再生しながら自然を再生する」というコンセプトの具現化を目指し創出された緑地。綿密な調査や検証を重ね、林立するビル群の中において、自然の存在感を感じることのできる「都市の森」をつくりだした。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	公益財団法人鎌倉風致保存会	御谷山林, 笹目緑地, 十二所果樹園, 旧板井邸緑地 (神奈川県鎌倉市)	地域の趣やたたずまいを壊さないよう、自然と歴史が一体となった景観を守り、後世に伝えていく活動。市民及び企業ボランティアにより、参加型イベントや子供のふれあい体験等を実施し、緑の保全の普及啓発につなげている。	
緑の事業活動部門	株式会社三五	ECO35 (愛知県名古屋市)	敷地周辺の緑との繋がりを意識し、都心の土地に、自然豊かな緑の環境を再生することをコンセプトとした工場跡地の緑化。従業員や地域の参加による植樹や多様な生き物を育むビオトープづくりなどが行われている。	
緑のまちづくり部門	新潟市	新潟県新潟市	河川改修で生まれた水辺空間を有効活用するため「やすらぎ堤」等の緑地整備に取り組み、市民協働による植栽、緑地を活かした各種イベントを開催するなど、地域住民、NPO、企業と連携した保全、再生の取組みを進めている。	

◎奨励賞 [3点]

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	南大塚都電沿線協議会	大塚バラロード (東京都豊島区)	有志により街を美しくきれいにする活動を始め、500種710株のバラが育つバラロードを創出。高齢者から子供も参加しコミュニケーションの輪が広がる。高齢者の生きがい作りとして「バラ見守り隊」を結成するなど、バラを介した、「活気あるまち大塚」に取り組んでいる。	
緑の事業活動部門	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院佐久医療センター 株式会社日建設計 綿半鋼機株式会社	JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター いきいきの森 (長野県佐久市)	公園のように誰もが緑を楽しめる医療空間づくりを目指し、その一環として地域性種苗よるふるさとの森づくりを病院職員、地域の方々との協働により行っている。建築工事の支障となった既存の樹木を移植するなど地域に親しまれてきた緑の継承に努めている。	
緑のまちづくり部門	豊田市	愛知県豊田市	「水と緑につつまれたものづくり・環境先進都市」をテーマに、緑化地域制度等により都心中心部の緑化を推進しているほか、「見える緑」の創出を目指し、道路、公共空地等の積極的な緑化や緑の普及啓発活動に取り組んでいる。	

第 35 回 緑の都市賞 の概要

■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進に個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するものとします。
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるものとします。 ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含まれます。 ・学校や病院等でも、業者委託での緑地の整備や管理なども含まれます。
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているものとします。

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1点 [副賞20万円(活動助成金)]
国土交通大臣賞	3点以内 [副賞15万円(活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3点以内 [副賞10万円(活動助成金)]
奨励賞	若干 [副賞5万円(活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ 審査委員

委員長	樺山 紘一	印刷博物館 館長
委員	池邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	石川 幹子	中央大学 工学部人間総合理工学科 教授
	井上 洋	一般社団法人 日本経済団体連合会 教育・スポーツ推進本部長
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	陣内 秀信	法政大学 デザイン工学部建築学科 教授
	野口 智子	ゆとり研究所 所長
	涌井 史郎	東京都市大学 環境情報学部環境情報学科 教授
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	宮下 和正	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2015年4月1日～6月30日	入選発表	2015年10月14日
審査会	2015年9月3日、28日	表彰式	2015年11月9日 於：ホテルオークラ東京

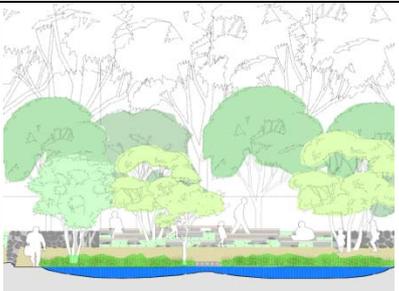
■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構
 後 援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協 賛：日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、
 一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、
 公益財団法人河川財団、一般社団法人日本建設業連合会

第 26 回 緑の環境デザイン賞 審査結果

第 26 回「緑の環境デザイン賞」(緑化プラン部門)には、全国から 27 点の応募があり、2015 年 9 月 15 日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

◎国土交通大臣賞 [2 点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
恵み野商店会	恵み野商店街 「ガーデンギャラリー」 の創出 (北海道恵庭市)	歩道のバリアフリー化の改修工事にあわせ、既存の花壇を改修し、「ガーデンギャラリー」として個性豊かなガーデンが並ぶ彩りあるメインストリートを創出するプラン。コニファーや宿根草を多用し、管理負担を軽減しながらも折々の花が楽しめる花壇づくりを目指す。	
特定非営利活動法人 グラウンドワーク 三島	水の山・富士山カ を実感 「三島・緑と水の 杜・三島梅花藻の 里」整備構想 (静岡県三島市)	「緑と水の杜」は、近隣の緑や水の環境資源のネットワークを形成するとともに、回遊性を高めることを目指すプラン。絶滅危惧種ミシマバイカモの保全や淡水魚の生息域の保護を図るなど、生き物等を通した子どもたちの実践的な環境教育の場の創出を目指す。	

◎緑化大賞 [3 点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
こよなく 北三番丁公園 を愛する会	北三番丁公園 「Healing Flower Garden (癒しの花園)」 (宮城県仙台市)	開園後 50 年経過し、植物の衰退化、単種化が進んだ公園で、地域住民の力で再生しようとするプラン。市の花である「ハギ」や宿根草、多年草を主体に植栽し、管理負担を軽減しつつも、四季の花々が楽しめる「癒しの花園」づくりを目指す。	
特定非営利活動法人 メリーポピンズの会	中山ちどり 屋上庭園 リニューアル事業 (兵庫県宝塚市)	高齢者福祉施設の屋上に、「明るく、楽しい」庭を創出しようとするプラン。高齢者の五感を刺激する、香の高い花木、果樹等や、子どもも高齢者も楽しめる菜園を設ける。同会をはじめ、幼稚園や大学、住民等幅広い参画により管理・運営する。	
社会福祉法人 浄水会 平尾保育園	平尾の森 (福岡県福岡市)	フェンスや構造物を境界部からセットバックさせ、保育園が接する道路空間の安全性快適性の向上を図るプラン。在来品種を用い福岡らしい森づくりを目指す。また、自然石の石積みは、ベンチや花壇に応用できるよう、利用面にも工夫を図っている。	

緑の環境デザイン賞 特別企画「おもてなしの庭」 審査結果

緑の環境デザイン賞「おもてなしの庭」助成プログラムは、東京都が策定した『東京都長期ビジョン～「世界の都市・東京」の実現を目指して～』の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることになみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、2020万円を上限としその整備費を助成するものです。今回は6件の応募があり、9月15日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

◎緑の環境デザイン賞「おもてなしの庭」大賞 [1点]

受賞者名	作品名	場所
特定非営利活動法人 京橋川再生の会	京橋大根河岸おもてなしの庭	東京都中央区
プラン概要		プランイメージ
<p>先のオリンピックで埋め立てられ高速道路となってしまった京橋川の、江戸時代には大根をはじめとする野菜の取引が行われていた橋詰広場を再生し、「和の文化」を発信する場として、茶の湯の精神を活かした「都市の庭」をつくるプラン。露路、茶花を配し、ひな祭り、七夕、月見、野点を行い、「京橋川カフェ」として国内外からの観光客をお迎えし、おもてなしを行っていく場を創出する。</p>		

◎緑の環境デザイン賞「おもてなしの庭」特別賞 [1点]

受賞者名	作品名	場所
三菱地所株式会社	ホトリア広場～交流の森～	東京都千代田区
プラン概要		プランイメージ
<p>東京の顔であり多数の観光客で賑わう丸の内の中で、「皇居」エリアと「東京駅」エリアを結ぶ結節点として、人・環境・生物を繋ぐ「交流の森」を創出するプラン。国内外からの来訪者を、この地に根ざした自然環境と歴史が調和した空間でお出迎えし、約2,800㎡もの広さを活かしたコミュニティ活動とイベントの実施により、人々が集い、憩うことができる「おもてなしの空間」を創出する。</p>		

第 26 回 緑の環境デザイン賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、今回より東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

緑化プラン	全国を対象	地域の美しい景観を形成すると同時に、ヒートアイランド緩和や生物多様性保全などの緑の持つ環境保全機能によって人と自然が共生する環境の形成に寄与するもの。
おもてなしの庭プラン	東京都限定	東京都内の公有地、民有地で、屋内外を問わず、小規模であっても公開性があり、花と緑で観光客を迎えるおもてなしの空間として活用されるもの。（例えば、多くの来訪者がある観光スポット、駅、空港などの交通拠点や関連する施設など）

■ 表彰

● 緑化プラン

国土交通大臣賞	2点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	数点	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点程度	副賞200万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	------	--------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	東京農業大学 名誉教授
委員	赤坂 信	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松本 肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	川島 貴志	第一生命保険株式会社 取締役専務執行役員
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2015年4月1日～6月30日	入選発表	2015年10月14日
審査会	2015年9月15日	表彰式	2015年11月9日 於：ホテルオークラ東京

■ 主催等

主 催	公益財団法人都市緑化機構、第一生命保険株式会社
後 援	国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
協 賛	一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
協 力	株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送

第 14 回 「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」審査結果

第 14 回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」には、32 点の応募があり、2015 年 8 月 18 日の審査委員会において次の作品の受賞を決定しました。

◎国土交通大臣賞 [2 点]

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	東京スクエア ガーデン (東京都中央区)	東京建物株式会社 第一生命保険株式会社 片倉工業株式会社 清水地所株式会社 ジェイアールエス保険サービス株式会社 株式会社日建設計 清水建設株式会社 大成建設株式会社 綿半鋼機株式会社	商業施設を含むオフィスビルの地下1階～5階の屋上における3,473㎡の緑化空間。地下広場から地上5階までを、大地が積層するかのように緑が立体的に連続する「京橋の丘」として計画・施工されており、歩道を往来する人々の目を楽しませている。	
壁面・特殊緑化部門	東京駅 八重洲口開発 グランルーフ (東京都千代田区)	東日本旅客鉄道株式会社 株式会社日建設計 株式会社ジェイアール東日本 建築設計事務所 鹿島建設株式会社 鉄建建設株式会社 西武造園株式会社	東京駅八重洲口の南北にある2棟の高層ビルをつなぐ延長230mのペDESTリアンデッキに施された壁面緑化。30種ものカラーリーフが、歩行者の目を楽しませ、東京の新たなランドマークとなっている。	

◎環境大臣賞 [2 点]

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	農大アカデミア センター 屋上緑化 (東京都世田谷区)	東京農業大学 株式会社久米設計 清水建設株式会社 イビデングリーンテック株式会社	大学の図書館機能と本部機能を併設した施設の屋上に創出された、約877㎡の屋上庭園。「農学の基本的フィールド」である里地・里山を都市のキャンパスに再現し、学生の学びの場としても活用されている。	
壁面・特殊緑化部門	セトレマリーナ びわ湖 ヤンマーマリーナ ホテル (滋賀県守山市)	セイレイ興産株式会社 株式会社ホロニック 株式会社芦澤竜一建築設計事務所 株式会社ウイン 株式会社ラーゴ	琵琶湖湖畔にあるホテルにおける緑化。敷地西側の湖際に「内湖」となる雨水を利用したビオトープを創出し、建築を含め、水辺から里山へとエコトーンのグラデーションの形成を目指している。	

◎日本経済新聞社賞 [2点]

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	日本ヒューレット・パッカー株式会社本社ビルスカイガーデン (東京都江東区)	日本ヒューレット・パッカー株式会社 西武緑化管理株式会社 西武造園株式会社	本社社屋の屋上に創出された1,136㎡の庭園で、社員食堂と一体的な空間として構成されている。「快適性の高いサステナブルデザイン」コンセプトのもと、エディブルプランツ(食用の植物)を中心に植栽し、今後は収穫物を社員食堂に食材として提供することを目指している。	
壁面・特殊緑化部門	日土地虎ノ門ビル (東京都港区)	日本土地建物株式会社 清水・坂田・日土地建設JV株式会社杉孝	オフィスビルの地上から7階までの壁面、約240㎡を緑化したもの。環境配慮型のオフィスビルで国内外の様々な環境認証を同時に取得。31mの高さまでルーバー状に多様な植栽を植えることで、足元廻りだけでなく、緑を空中にまで拡げる工夫を行っている。	

◎都市緑化機構会長賞 [2点]

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	あべのハルカス (大阪府大阪市)	近鉄不動産株式会社 株式会社竹中工務店 千葉大学大学院園芸学研究所 オンサイト計画設計事務所	駅、百貨店など様々な機能が集積した高層ビルで、上空にセットバックし3か所の屋上庭園を設けている。強風に耐える植物を様々な調査や実験により選定し、高層ビルでの緑化を実現している。	
壁面・特殊緑化部門	VENT VERT (東京都港区)	大和リース株式会社 鈴木エドワード建築設計事務所株式会社	ショップ・飲食などの店舗が入居するテナントビルの壁面緑化。緩く弧を描いたスタイリッシュな建築のフォルムと街に潤いを演出する壁面緑化を融合させている。土壌を十分に備えることで、年々植物が成長し「経年優化」している。	

◎審査委員会特別賞 [2点]

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	屋上の芝生園庭、千住寿幼稚園 (東京都足立区)	学校法人芦田学園 東邦レオ株式会社	幼稚園の屋上部につくられた160㎡の屋上庭園。緑化駐車場等で採用されている芝生用耐圧基盤土壌と、屋上緑化で使用されている貯排水層を組み合わせたシステムを導入することで、「一年を通して緑の芝生空間」を実現している。	
壁面・特殊緑化部門	FACTORY IN THE EARTH / JST MALAYSIA (Johor, Malaysia)	J.S.T. CONNECTORS (MALAYSIA) SDN. BHD. 株式会社芦澤竜一建築設計事務所 株式会社ウイン	マレーシアの埋め立て地に立地する工場の緑化。大地と連続した大屋根の全面が緑化され、緑の丘が工場建屋を被うような形状となっている。大屋根が着地する端部には、雨水が流れ込む池を2つ設け、ジャングルの湿地特性を再現している。	

第14回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール 実施概要

■目的

屋上等特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的とする。

■応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化
壁面・特殊緑化部門	①建築物の壁面の緑化 ②土木構造物の壁面（高架道路壁面、擁壁等）の緑化 ③土木構造物の高架（道路・鉄道高架部分、橋等）上・下空間の緑化 ④屋内（アトリウム、室内、地下空間等）、ベランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化

・応募作品の完成時期：平成26年3月31日までに完成したもの。

■表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	屋上緑化部門 1点以内	各部門において特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
		壁面・特殊緑化部門 1点以内	
環境大臣賞	環境大臣	屋上緑化部門 1点以内	
		壁面・特殊緑化部門 1点以内	
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社	屋上緑化部門 1点以内	各部門における特に優れた作品
		壁面・特殊緑化部門 1点以内	
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	2点以内	特に技術水準が高く、優れた作品
審査委員会特別賞	審査委員長	若干	審査委員会において必要と認められた場合

■スケジュール

募 集	2015年4月1日	応募締切り	2015年6月30日
審査委員会	2015年8月18日	入選発表	2015年10月14日
表彰式	2015年10月21日（於：東京ガーデンパレス）		

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
委員	井上 洋	一般社団法人日本経済団体連合会教育・スポーツ推進本部長
	仙田 満	東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長
	塚田 市朗	一般財団法人日本建築センター常務理事
	行木 美弥	環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室室長
	町田 誠	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
	真部 保良	日経BP社日経BPインフラ総合研究所主席研究員
	森本 幸裕	京都学園大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科教授
	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構専務理事

■主催・後援等

- ・主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・後援：国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社
- ・特別協賛：住友林業株式会社
- ・協賛：一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会